

事務事業	10008	子ども予防接種事業	担当課 課長	健康課 作本 和美	担当係 担当者	健康管理係 木森 絵里
計後 画期 体計 系画	施策	05 子どもを安心して生み育てることができるまちをつくる	予 算 科 目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	170 親と子の健康を維持・増進する		款	4	衛生費
				項	1	保健衛生費
				目	2	予防費
法令根拠条例等			予防接種法		個別計画	健康増進計画「健康しめ21」
実施期間	<input type="checkbox"/> 28年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		H7 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～ 年度

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 予防接種法に基づく各種予防接種を実施し、疾病の発生及び蔓延を予防する。予防接種事業には、糟屋地区1市7町の指定医療機関で行う個別予防接種によって実施される。平成15年度より県内6箇所の予防接種センターの体制が整備され、アレルギー等のある接種要注意者が安心して予防接種が受けられるようになった。平成17年9月より福岡県医師会と契約し、福岡県広域予防接種が開始され県内の登録医療機関でも接種が可能となった。 【定期予防接種】四種混合・三種混合・二種混合・不活化ポリオ・BCG・MR(麻しん風しん)・日本脳炎・ヒブ・小児肺炎球菌・子宮頸がん予防・水痘・B型肝炎 【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 出生時及び転入時に予防接種予診票手帳の交付、接種方法の説明を行う。町で行う乳幼児健診時に接種状況を確認し、未接種者には接種勧奨を行う。MR(麻しん風しん混合ワクチン)の通知を行う。(MRの2期の対象者には年度初めに個別通知を実施。その後はMR2期未接種者に対して年間3～4回接種勧奨通知を行う。)粕屋医師会及び県医師会と契約をし、接種後各医療機関の請求により支払い事務処理を行う。	<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
主な 事業 費の 内訳	個別予防接種委託料 104,796 千円 印刷製本費 356 千円 郵便料 91 千円 消耗品費 73 千円 予防接種事務委託料 29 千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

事務 事業 の 目 的	① 手段(主な活動) 28年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) 出生・転入時予診票手帳配布・説明 MR2期未接種者への接種勧奨 個別予防接種の請求に対する支払業務 日本脳炎特例措置対象者への接種勧奨	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																													
	② 対象(誰、何を対象にしているのか) 予防接種法に基づく各予防接種の年齢範囲内の乳幼児・児童 (麻しん・風しん混合ワクチン3・4期は平成20～24年度までの5年間実施)	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)																													
		③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 予防接種の接種率を向上させ、疾病の発生や病気の蔓延を予防する。	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																												
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 麻しん・風しん混合ワクチン2期接種者数</td> <td>人</td> <td>489</td> <td>567</td> <td>538 (見込)</td> </tr> <tr> <td>イ 小学校2年生日本脳炎1期追加接種者数</td> <td>人</td> <td>402</td> <td>470</td> <td>447 (見込)</td> </tr> <tr> <td>ウ 中学校2年生二種混合接種者数</td> <td>人</td> <td>159</td> <td>136</td> <td>241 (見込)</td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	27年度	28年度	29年度	ア 麻しん・風しん混合ワクチン2期接種者数	人	489	567	538 (見込)	イ 小学校2年生日本脳炎1期追加接種者数	人	402	470	447 (見込)	ウ 中学校2年生二種混合接種者数	人	159	136	241 (見込)							
	名称		単位	27年度	28年度	29年度																									
	ア 麻しん・風しん混合ワクチン2期接種者数	人	489	567	538 (見込)																										
イ 小学校2年生日本脳炎1期追加接種者数	人	402	470	447 (見込)																											
ウ 中学校2年生二種混合接種者数	人	159	136	241 (見込)																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 麻しん・風しん混合ワクチン2期接種率(接種者数/対象者数)</td> <td>%</td> <td>目標 95.0 実績 92.4</td> <td>95.0 94.8</td> <td>95.0</td> </tr> <tr> <td>イ 小学校2年生日本脳炎1期追加接種率(接種者数/対象者数)</td> <td>%</td> <td>目標 80.0 実績 71.4</td> <td>80.0 84.0</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>ウ 中学校2年生二種混合接種率(接種者数/対象者数)</td> <td>%</td> <td>目標 50.0 実績 35.3</td> <td>50.0 26.7</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	27年度	28年度	29年度	ア 麻しん・風しん混合ワクチン2期接種率(接種者数/対象者数)	%	目標 95.0 実績 92.4	95.0 94.8	95.0	イ 小学校2年生日本脳炎1期追加接種率(接種者数/対象者数)	%	目標 80.0 実績 71.4	80.0 84.0	80.0	ウ 中学校2年生二種混合接種率(接種者数/対象者数)	%	目標 50.0 実績 35.3	50.0 26.7	50.0	エ		目標			オ		目標		
名称	単位	27年度	28年度	29年度																											
ア 麻しん・風しん混合ワクチン2期接種率(接種者数/対象者数)	%	目標 95.0 実績 92.4	95.0 94.8	95.0																											
イ 小学校2年生日本脳炎1期追加接種率(接種者数/対象者数)	%	目標 80.0 実績 71.4	80.0 84.0	80.0																											
ウ 中学校2年生二種混合接種率(接種者数/対象者数)	%	目標 50.0 実績 35.3	50.0 26.7	50.0																											
エ		目標																													
オ		目標																													

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		27年度 (決算値)	28年度 (当初予算)	28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等	受益者負担等					
一般財源		合計(A)	103,026	134,445	105,343	134,525	134,525	134,525
(内臨時・嘱託職員人件費)								
正職員人件費[按分](B)			3,571	2,962	3,562	3,842		
トータルコスト(A)+(B)			106,597	137,407	108,905	138,367	134,525	134,525

# 事務事業評価表(事業実施年度:平成28年度)

## (3) 事務事業の環境変化・住民意見等

<p>① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？</p> <p>種痘をはじめとする感染症を予防する目的で、1948(昭和23)年に国は予防接種法を制定した。平成7年に予防接種法の改正より現在の個別接種へ移行した。 平成22年度厚生労働省補正予算(案)『円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策関連事業』の子育て、医療・介護・福祉等の強化による安心の確保として、ヒブ・小児肺炎球菌・子宮頸がんワクチンの3ワクチンに補助金が交付され、平成25年度より3ワクチンが定期接種となった。</p>	<p>② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか？</p> <p>平成24年9月より不活化ポリオワクチンが導入され、集団接種から個別接種に移行した。平成24年11月からは三種混合に不活化ポリオワクチンを加えた四種混合ワクチンが導入され、平成28年度中に国内に存在していた全ての三種混合ワクチンが有効期限切れとなり、実質的に三種混合ワクチンが廃止となった。平成25年4月よりヒブ・小児肺炎球菌・子宮頸がんワクチンが、平成26年10月より水痘ワクチンが定期接種となり、定期予防接種が増加傾向にある。 平成28年10月にはB型肝炎ワクチンが定期予防接種として追加された。</p>	<p>③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？(誰からの意見か明記)</p> <p>国内に存在する全ての三種混合ワクチンが有効期限切れとなったことにより、四種混合・ポリオワクチンの接種について、医療機関より問い合わせがあった。 また、日本脳炎接種勧奨差控え期間の特例対象年齢についても問い合わせがあった。</p>
--	--	--

## (4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		28年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成28年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善  <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	<p>例年通り、医療機関や住民へ徹底して周知を行った。国の通知に基づき、平成28年度に18歳となる人たちへ、日本脳炎2期の接種勧奨を行ったところ電話での問い合わせや窓口へ予約票を取りに来られる方があり、効果が見られる。 また、平成27年8月より子育てモバイルサービス「子育て応援ナビ すくすく しめ☆Kids」を運用開始、予防接種情報提供を行っており、予約票手帳交付時に登録案内をしている。登録者数も毎月増加している。 また、平成28年度10月からのB型肝炎定期予防接種開始に伴い、赤ちゃん訪問時や健診案内時に徹底して周知を行った。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません)  <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→)  <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

## 2 評価(SEE)及び全体総括の部 \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

### (1) 評価

	評価の理由
<p>① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください</p> <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	<p>予防接種事業の目的は、病気の蔓延を予防することである。この事業を行うことによって、対象者である乳幼児が病気になることを防ぎ、健康に生活できるための政策に結びつくと言える。</p>
<p>② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか？(事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？)</p> <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	<p>予防接種法に基づいて実施しているため妥当である。</p>
<p>③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか？</p> <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	<p>日本脳炎については、法改正により接種差控え期間の対象者への未接種分を定期予防接種として接種できる特例を実施しているため、勧奨を行うことで接種率を向上させることができると考える。また、二種混合については、他の予防接種に比べて接種率が著しく低いことから、接種勧奨を行うことは接種率の向上を図ることができると思われる。</p>
<p>④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？</p> <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	<p>法律によって規定されている事業のため、廃止はできない。また、廃止することで乳幼児の予防接種を行う機会がなくなり、感染症蔓延の危険性等が考えられるため、廃止による影響は大きい。</p>
<p>⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか？(広域連携や民間委託等の導入など)</p> <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	<p>糟屋地区1市7町統一単価で実施しており、また近年の出生数・転入の増加や、ワクチンの種類の増加により、事業費の削減はできない。</p>

### (2) 28年度を振り返って(全体総括・反省点)

<p>例年通り、医療機関や住民への周知徹底を行った。国の通知に基づき、平成28年度に18歳となる方へ日本脳炎2期の接種勧奨を行ったところ、電話での問い合わせや窓口へ予約票を取りに来られる方があり、効果が見られる。 また、平成27年8月より運用を開始している子育てモバイルサービス「子育て応援ナビ すくすく しめ☆Kids」については、毎月登録者数も増加している。予約票手帳交付時に登録案内を行っている。サービスを通じて予防接種の情報提供も行っており、接種漏れの防止や制度改正時の案内にも役立っている。</p>
--

## 3 今後の方向性(29年度以降の計画と30年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成29年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→  <input type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	<p>日本脳炎については、法改正により接種差控え期間の対象者への未接種分を定期予防接種として接種できる特例を実施しているため、勧奨を行うことで接種率を向上させることができると考える。また、二種混合については、他の予防接種に比べて接種率が著しく低いことから、接種勧奨を行うことは接種率の向上を図ることができると思われる。</p>